

【6月議会概要】

平成24年6月6日～15日の日程で「平成24年度・第2回下妻市議会定例会」が開催されました。

【議案抜粋】

今議会では、市・市民・事業者・関係機関・団体が連携して、暴力団の排除を進めていくとする「下妻市暴力団排除条例」を始め、議案3件、報告3件、諮問4件が上程され、すべて可決・同意されました。

【一般質問から】

今回の議会では「ホームページのリニューアルについて」一般質問いたしました。

本年度の重点政策の1つとして「公式ホームページリニューアル事業」が予算計上されています。3.11の際には自治体のサーバーの機能が失われたり、アクセスの集中により被害状況や避難所の情報収集が出来ないという事例が生じました。その様な中、クラウドサービス（自治体サーバー外にあるインターネット上で提供されている様々なサービス）の活用により行政サービスの維持・継続が図られた事例があり、これを念頭において下妻市のHPリニューアルも災害対応を踏まえたものにする必要があるのではないかと訴えました。

答弁としては、国の進める自治体クラウド（地方公共団体の情報システムをデータセンターに集約し市町村がこれを共同利用する）の利用検討、ツイッター等のソーシャルメディアの導入を予定するなど、前向きなものを頂きました。

リニューアルの経緯は旧ホームページの作成から年数が経過したため、（スマートフォン等への対応などを念頭において）のものでしたが、もう1つ視点を加えることが出来たのではないかと思います。

【放射線講演会を開催しました】

チェルノブイリ原発事故を契機に、一市民としての問題意識から、放射線の問題を長年研究されてきた小川仙月氏を講師に招き、6月10日「やすらぎの里しもつま」にて講演会を開催いたしました。



【主催者代表あいさつ】
しば元気



【講師】
小川仙月氏

講演会の中で、東海第二原発再稼働反対の決議をした近隣自治体議会の一覧が示されましたが、そこに下妻市の名はありませんでした。

「しばさん、私は恥ずかしかったよ」そのように私におっしゃった参加者の方がおられました。

その様な声を受けまして、今回の講演会を企画されました市民の方を中心として9月の下妻市議会定例会に裏面の内容で請願・陳情を提出する予定となりました。

【請願 署名のお願い】

東海村の東海第二原発の再稼働を認めず、その廃炉を求める請願を下妻市議会に提出する取組みがなされています。下記請願の内容に賛同いただける方、署名のご協力をお願い致します。

件名 東海第二原発廃炉を求める決議に関する請願書

要旨
一、下妻市議会において東海第二原子力発電所の再稼働を認めない旨の決議をなされることを求める
二、下妻市議会が地方自治法第 99 条の規定に基づき、東海第二原子力発電所の廃炉を求める意見書を国と県に提出することを求める

理由
福島第一原子力発電所の事故により、この下妻地区においても第一次産業を始め多方面に深刻な影響が広がっています。
茨城県東海村の東海第二原子力発電所でも、当時 2 日間外部からの電源を失い、非常用発電機の電源の一部も停止し、福島第一発電所と同じような深刻な事態になりかねないところでした。今後、東海第二原子力発電所においてひとたび過酷事故が起これば、この下妻地区も土地・財産を捨てなければならなくなり、命までも脅かされることになりかねません。また、すでに東海第二原子力発電所では建設より 33 年経過し、老朽化してきていることを心より憂いております。
すでに、下妻市周辺の自治体でも同様の趣旨の請願が採択されているところですが、以上を踏まえて、私たちは東海第二原子力発電所の廃炉を強く求めるものです。

平成 24 年 月 日

下妻市議会議長 増田省吾殿

請願者（代表者）
住所 下妻市宗道 2 9 5 - 1
氏名 小貫 悦子

上記、請願書の内容に同意していただける方のご署名をお願いいたします (FAX 送信お願いいたします)

☐ FAX 送信 0296 44 6244 ☐

署名簿：東海第二原発廃炉を求める決議に関する請願書

住所	氏名